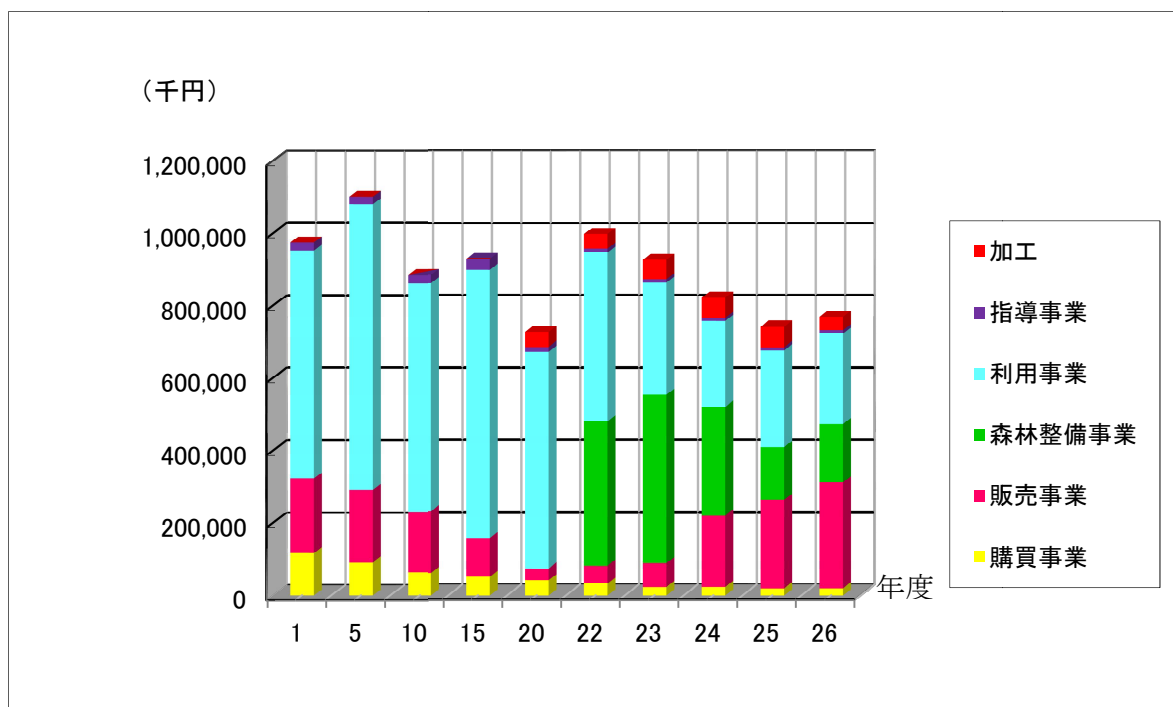


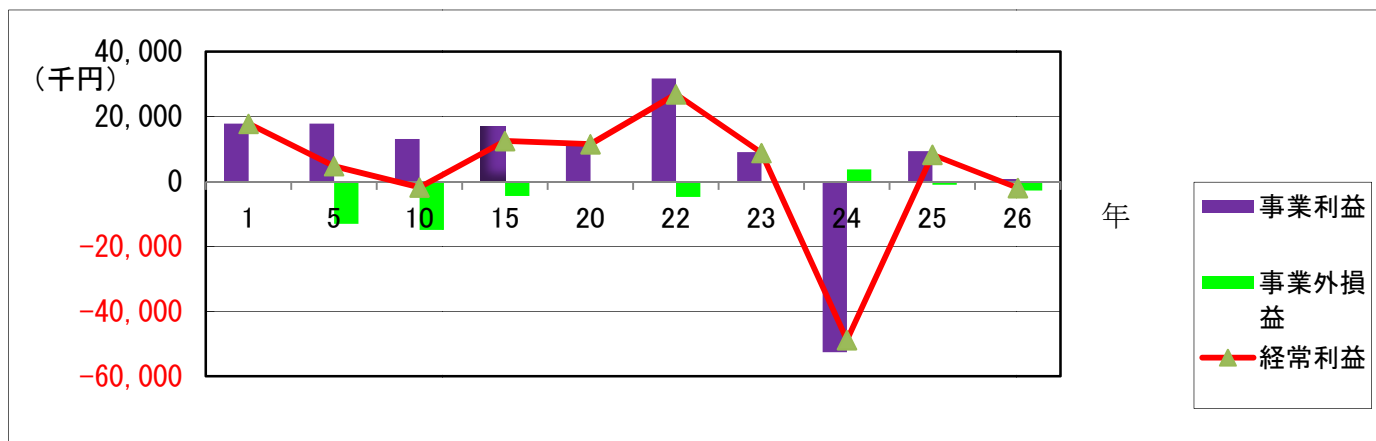
3. 林業経営と県営林

(1) 森林組合

森林組合主要事業収益の推移



経常利益と経常損失の推移



平成18年11月1日に、千葉市森林組合を除く14組合が合併し、千葉県森林組合が発足したため、県内の活動組合数は2組合となった。平成26年度末における2組合の組合員数は15,150人である。

組合員所有森林面積は34,551haで、私有林面積に占める割合は22%である。また、払込済出資金額は、2組合合計で93,502千円である。

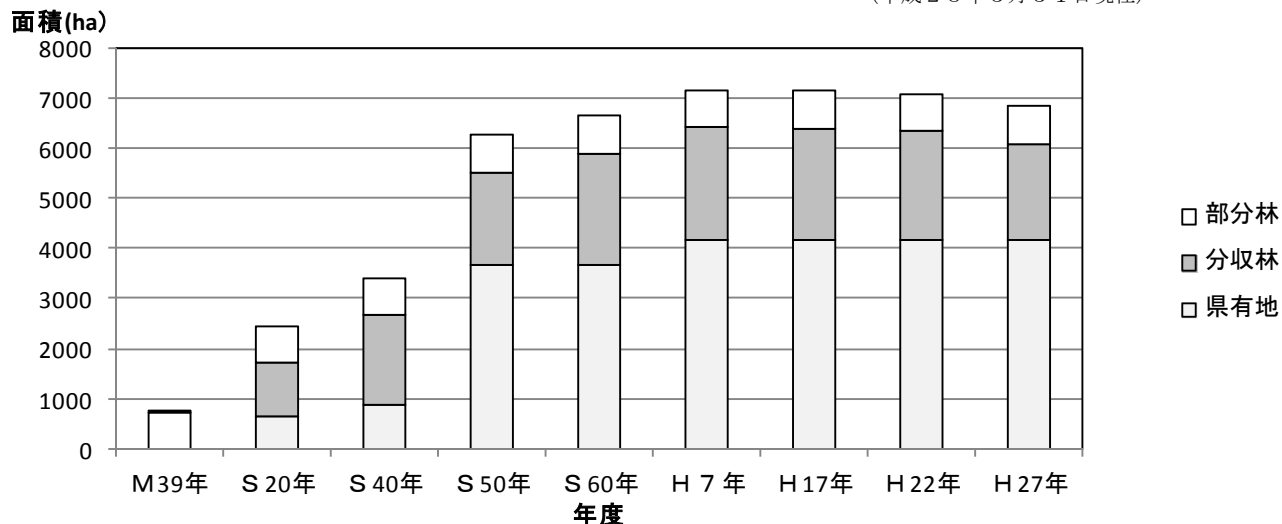
平成26年度事業は、千葉市森林組合で経常利益が回復したが、千葉県森林組合では平成24年度から25年度上期にかけて事業収益が大幅に落ち込み、25年度上期の事業利益で△155百万円を計上し、県や金融機関の指導を受け、25年度下期から27年度までの3ケ年の経営改善計画を建て、内部管理体制の強化、不採算事業の休止や取り止め、組合施設の統廃合や人件費を含めた事業管理費の削減を行うとともに、森林整備事業では高性能林業機械の活用による低コスト化を進め、効率的な事業実施を行うことにより、平成27年度末までに経営を改善する計画としているが、平成26年度は目標達成に至らなかった。

(2) 県営林

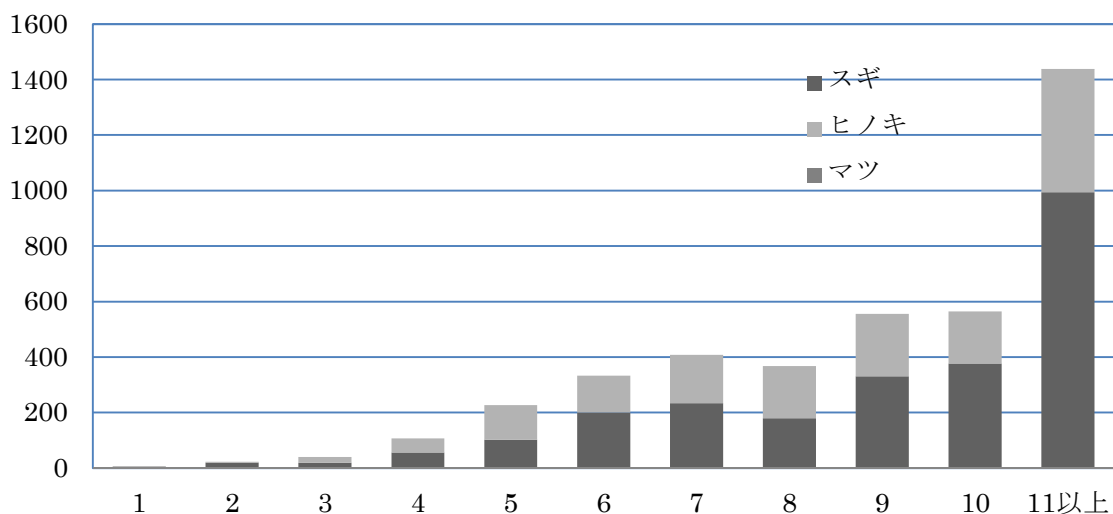
—県営林の整備をさらに推進—

県営林面積の推移

(平成28年3月31日現在)



県営林の齢級別面積



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成27年度末の面積は、6,842ha（県有林 4,158ha・分収林 1,938ha・部分林 746ha）となっている。

地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,781ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,038ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。

27年度事業で下刈、間伐等の保育事業156haを実施した。また、林産物については、素材409m³、立木14m³等を売払い2,930千円の収入を得た。